

カラー／N=ナチュラル BL=フロント、OW=オリンピック・ホワイト BB=ブラック YS=イエロー・サンバースト GS=ゴールデン・サンバースト
●ローズ指板は全モデルに採用しています。

全機種ダブル・ファンキーストーバーライトゲージ(D-9300)を使用

*ナチュラルはST-85N(¥85,000)
ST-65NC(¥65,000)、ST-55N(¥55,000)となります。



ST100 N



ST80 BL



ST60 OWR



ST50 BB



ST42 YS

国産では初の真鍮製のシールド・プレートの採用が長期にわたる安定したシールド効果を発揮します。配線の際は、バリアル・レジスター(可変抵抗器)の性能が、ハンダ付け業の際の熱によって低下する事を防ぐため、STシリーズでは別に端子を設けそれにハンダ付けをしています。したがって、メンテナンスも楽にできるようになりました。

トーン切り替えスイッチは3段スイッチを採用。もちろん、'54ストラトのハーフトンを出すことは極めて楽にできます。ハーフボジョンには素早い操作でセッティングが可能となり、演奏中に脱落したりすることはあります。(新聞免・3段5ポジション切り替えスイッチ)



'54ストラトのボディシェイプは、特徴あるバックの深いカットとアームレスのカットなど、現在と較べるとかなり大胆にデザインされていました。この大きなカットは、ギタリストの身体にジャストフィットし高难度演奏性とスタイリングを重視しています。

STシリーズのボディは、この外観のみならず、精巧に作られていたマイク穴にまるまるリプロダクトされ、オールドのサウンドを呼び戻しました。



STシリーズのネックは、オールドタイプVシェイプネック(ST-80, ST-100)と高度な演奏性をもつUシェイプ(ST-42, 50, 60)の二種類があります。全機種メイプルワンピースネック。ローズ指板もあります。

フレットはオールドと同一の規格です。また、フレットみぞはネックのラウンドに合せてみぞ切りしてあるため、高度なフレッヂングが可能となりました。(写真左 Uシェイプ、右Vシェイプ・ローズ指板)

東海楽器の持つ楽器作り30年のクラフトマン・シップに培われた技術水準は、ネック、ボディのジョイント部分にも完璧に生かされています。まさにセットネックであるかのように接合するジョイント部分は音質にも大きなメリットをもたらし、インパクトのあるサウンドが得られます。またネック交換の際にも純正パーツであれば思いのままです。



STシリーズのブリッジとトレモロユニットは、'54ストラトのスプリングキーサウンドを表現するうえで、なくてはならないパーツです。オールドと同じプレス加工されたブリッジと、袖部にわざって再現されたトレモロユニットのコンビネーションは、シャープで歯切れよく、それでいて暖かみのあるオールドサウンドをフォローします。